

# しんきん3資産ファンド(1年決算型)

追加型投信／内外／資産複合

## 交付運用報告書

第6期(決算日2025年9月22日)

作成対象期間(2024年9月21日～2025年9月22日)

第6期末(2025年9月22日)	
基 準 価 額	15,133円
純 資 産 総 額	6,481百万円
第6期	
騰 落 率	16.0%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 謄落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきん3資産ファンド(1年決算型)」は2025年9月22日に第6期の決算を行いました。

当ファンドは、国内株式、外国債券および国内不動産投資信託に分散投資し、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行っています。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。弊社ホームページの「ファンド各種資料」において運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

○運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

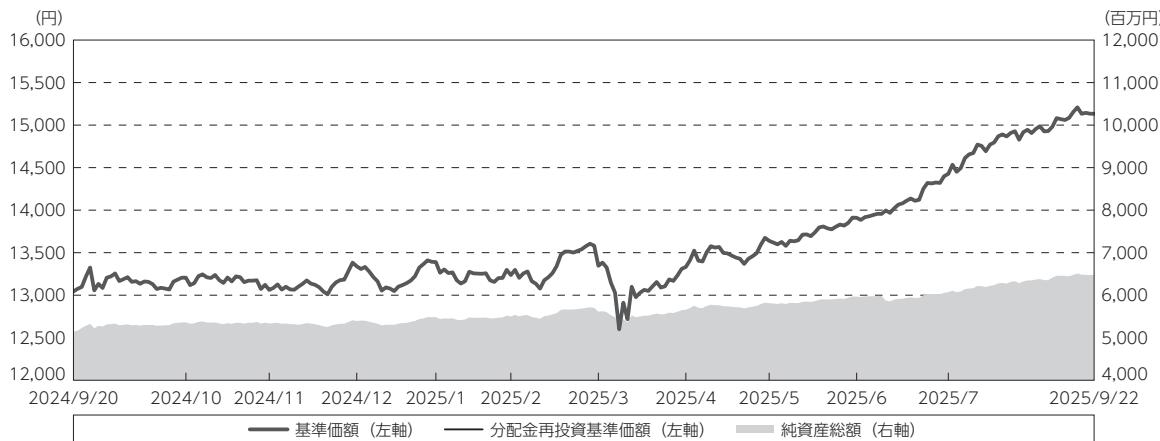
<コールセンター> ☎ 0120-781812

(土日、休日を除く)  
(9:00~17:00) 携帯電話からは03-5524-8181

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2024年9月21日～2025年9月22日)



期 首 : 13,044円

期 末 : 15,133円 (既払分配金(税込み): 0円)

騰落率 : 16.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2024年9月20日）の値が基準価額と同一となるように指標化しています。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、3つの異なる資産（国内株式・外国債券・国内不動産投資信託）に分散投資を行うことで、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指しています。

当期における当ファンドの基準価額は上昇しました。

組入銘柄の上昇を背景とした「しんきん好配当利回り株マザーファンド」の基準価額の上昇や不動産投資信託市場の上昇を背景とした「しんきんJリートマザーファンドII」の基準価額の上昇がプラスに寄与しました。また、対円でのユーロの上昇を背景とした「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の基準価額の上昇や米ドルの上昇を背景とした「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の基準価額の上昇もプラスに寄与しました。

## 基準価額変動要因

	前期末基準価額	13,044円
要因	国内株式	1,204円
	外国債券 (うち為替要因)	338円 (279円)
	国内不動産投資信託	686円
	小計	2,228円
分配金		0円
その他変動要因 (信託報酬含む)		△139円
	当期末基準価額	15,133円

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

また、各資産の主な変動要因は、以下のとおりです。

### 国内株式

#### <上昇要因>

- ・イスラエルとイランの停戦が成立したこと。
- ・日米通商交渉の妥結や半導体関連株が物色されたこと。

#### <下落要因>

- ・自民党総裁に金融政策の正常化に前向きな考えを示している石破氏が就任したこと。
- ・2025年4月にトランプ政権が相互関税の詳細を発表すると、その規模が事前の予想を上回る内容であったこと。
- ・高値警戒感から利益確定売りに押されたこと。

### 外国債券

#### <上昇要因>

- ・2024年12月の欧州中央銀行（E C B）政策理事会で0.5%の利下げが実施されるとの観測が高まることなどを受けて、ドイツ10年国債利回りが低下（価格は上昇）したこと。
- ・E C Bが2025年4月の会合で追加利下げを決定したことなどから、ドイツ10年国債利回りが低下（価格は上昇）したこと。
- ・個人消費の低迷を示唆する米経済指標から、米景気の減速懸念の高まりなどを受けて、米国10年国債利回りが低下（価格は上昇）したこと。

#### <下落要因>

- ・2024年12月のドイツ消費者物価指数（C P I）速報値の前年同月比の伸びが前月から加速したことなどを要因とする利下げ観測の後退などを受けて、ドイツ10年国債利回りが上昇（価格は下落）したこと。
- ・米国を中心とした貿易交渉の進展などを背景に、ドイツ10年国債利回りが上昇（価格は下落）したこと。
- ・米格付け会社ムーディーズが米国の長期発行体格付けを引き下げたことなどを背景に、米国10年国債利回りが上昇（価格は下落）したこと。

## 国内不動産投資信託

### ＜上昇要因＞

- ・自律反発と見られる買いに加え、複数のJリートが自己投資口取得を発表したこと。
- ・良好な不動産市況やJリートの需給改善、分配金利回りの高さに着目した買いがあったこと。

### ＜下落要因＞

- ・2024年10月に実施された衆議院選挙の結果などを受けて株式市場が下落したこと。
- ・米政府が発表した相互関税が予想よりも厳しい内容となったことを受けて、世界的な景気減速懸念が急速に高まったこと。

### 1万口当たりの費用明細

(2024年9月21日～2025年9月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 137	% 1.006	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(65)	(0.476)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(68)	(0.498)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.009	(b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(1)	(0.007)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(c) その他の費用	2	0.017	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他の)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	140	1.032	
期中の平均基準価額は、13,570円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

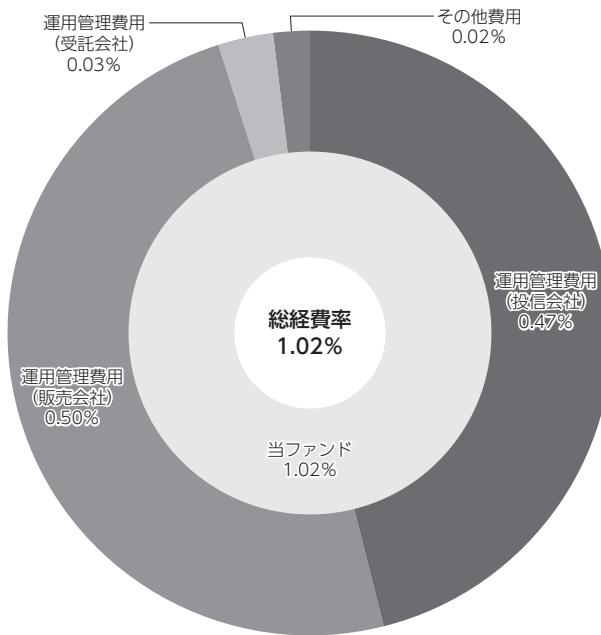
(注) 売買委託手数料およびその他の費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.02%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2020年9月23日～2025年9月22日)



	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日	2024年9月20日 決算日	2025年9月22日 決算日
基準価額 (円)	9,178	10,923	11,305	12,416	13,044	15,133
期間分配金合計（税込み） (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	19.0	3.5	9.8	5.1	16.0
純資産総額 (百万円)	804	1,674	2,286	3,271	5,144	6,481

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。

(注) 謄落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは3つの異なる資産（国内株式・外国債券・国内不動産投資信託）に分散投資を行うことで投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指標を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

## 投資環境

(2024年9月21日～2025年9月22日)

### (国内株式市況)

国内株式市場は、上昇しました。

当期初から2025年3月にかけては、自民党総裁に金融政策の正常化に前向きな考えを示している石破氏が就任したことやトランプ政権の政策への警戒感のほか、内外の金利上昇が投資家心理を圧迫したことなどを受けて、売りが優勢となる場面もありましたが、値ごろ感などから買いが入り、上昇しました。4月上旬は、トランプ政権が相互関税の詳細を発表すると、その規模が事前の予想を上回る内容であったことなどから、投資家心理が悪化し、下落しました。その後、高値警戒感から利益確定売りに押され、一進一退の動きになる場面もあったものの、当期末にかけては、イスラエルとイランの停戦成立や日米通商交渉の妥結、半導体関連株の物色などを背景に、上昇しました。

### (海外債券市況)

ドイツ10年国債利回りは、上昇しました。

当期初から2025年3月にかけては、2024年11月のユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）において、総合の速報値が50を割り込んだことで、12月の ECB 政策理事会で0.5%の利下げが実施されるとの観測が高まることなどを受け、同利回りは低下する場面もありましたが、12月のドイツCPI速報値の前年同月比の伸びが前月から加速したことなどを要因とする利下げ観測の後退などを受けて、同利回りは上昇しました。その後、2025年4月は、ECB が会合で追加利下げを決定したことなどを受けて、同利回りは低下基調で推移しました。5月は、米国を中心とした貿易交渉の進展などを背景に、同利回りは上昇する場面もありましたが、トランプ政権が欧州からの輸入品に50%の関税賦課を表明したことや、ECB による利下げ観測が高まり、横ばいとなりました。当期末にかけては、ECB が政策金利を据え置いたことや、米国との貿易協議をめぐる楽観的な見方が強まつたことから、同利回りは上昇しました。

米国10年国債利回りは、上昇しました。

当期初から2025年1月にかけては、2024年9月の米雇用統計で非農業部門雇用者数の前月比の伸びが市場予想を上回り、米労働市場の堅調さが意識されたことなどを受け、米連邦準備制度理事会（FRB）が11月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で0.5%の利下げを決定するという市場の期待が後退したことなどから、同利回りは上昇基調で推移しました。その後、2025年4月にかけては、個人消費の低迷を示唆する米経済指標から、米景気の減速懸念の高まりなどを受けて、同利回りは低下しました。5月は、米格付け会社ムーディーズが米国の長期発行体格付けを引き下げたことや、トランプ政権による大規模減税法案の下院可決等を受けて、米財政状況への懸念が再燃したことなどを背景に、同利回りは上昇しました。6月から7月にかけては、米雇用統計の非農業部門雇用者数が市場予想を上回って増加したことなどから上昇する場面もありましたが、当期末にかけては、FRB が政策金利を0.25%引き下げるこを決定したことなどから、低下基調で推移しました。

### (為替相場)

ユーロ円市場は、対円で上昇しました。

当期初から2025年2月にかけては、トランプ政権の掲げる関税政策の実現が欧州経済に悪影響を与えるという懸念が市場で生じ、ECB が利下げペースを加速させるとの見方が高まつたことなどによる欧

州債金利の低下などを受けて、ユーロ安・円高に推移しました。3月から7月にかけては、トランプ政権が日本に対し25%の追加関税を課すと発表したことなどを受けて、日銀の利上げ観測が後退するとの見方などを背景に、ユーロ高・円安が進みました。また、参院選で与党が過半数割れするとの観測を背景に、国内政治の不透明感が強まることなどを受けて、さらにユーロ高・円安が進行しました。当期末にかけては、市場予想を上回る7月のユーロ圏消費者物価指数（HICP）の結果を受けて、ECBが政策金利を据え置くとの見方が広がったことなどから、ユーロ高・円安に推移しました。

米ドル円市場は、対円で上昇しました。

当期初から2024年12月にかけては、石破茂首相が追加利上げを否定する方向性を示したことや米労働省が発表した9月の米雇用統計で、米労働市場の堅調さが意識されたことなどを受け、FRBによる利下げ観測が後退し、米国10年国債利回りは上昇したことなどから、ドル高・円安に進みました。2025年1月から4月にかけては、トランプ政権の関税政策から世界的な景気減速懸念が高まり、リスク回避の動きが優勢になったことなどを背景に、ドル安・円高に進行しました。5月から6月にかけては、イスラエルとイランとの軍事衝突をきっかけに有事のドル買いが広がり、一時ドル高・円安が進みましたが、停戦合意などにより、7月会合での利下げが意識されたことなどを受け、一進一退の動きとなりました。当期末にかけては、米国のCPIで、関税によるインフレ圧力が顕在化し、FRBによる利下げ観測が後退したことなどから、ドル高・円安が進行する局面もありましたが、FRBが政策金利を0.25%引き下げる 것을決定したことなどを背景に、一進一退の動きとなりました。

#### (国内不動産投資信託市況)

国内不動産投資信託市場（Jリート市場）は、上昇しました。

当期初から年末にかけては、2024年10月に実施された衆議院選挙の結果などを受けて株式市場が下落したことや日米長期金利の上昇が継続したことなどを背景に、下落しました。2025年1月から3月にかけては、自律反発と見られる買いに加え、複数のJリートが自己投資口取得を発表したことなどが好感され、上昇しました。4月上旬は、米政府が発表した相互関税が予想よりも厳しい内容となったことを受けて、世界的な景気減速懸念が急速に高まつたことなどから、Jリート市場は大きく下落しました。4月中旬から当期末にかけては、良好な不動産市況やJリートの需給改善、分配金利回りの高さに着目した買いなどを背景に上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2024年9月21日～2025年9月22日)

親投資信託である「しんきん好配当利回り株マザーファンド」、「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」、「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」および「しんきんJリートマザーファンドⅡ」の受益証券への投資を通じ、国内株式、外国債券および国内不動産投資信託それぞれの実質組入比率がおおむね3分の1程度となるように調整しています。

### 国内株式

#### ●しんきん好配当利回り株マザーファンド

設定・解約に伴い現物株式を売買したほか、ファンドの運用方針に従い、①予想配当利回り、②企業業績、③時価総額、④財務の健全性の4項目により投資対象銘柄を絞り込み、個別銘柄の入替えなどを必要に応じて実施しました。当期末時点の組入銘柄数は、85銘柄、保有銘柄の予想平均配当利回りは、3.31%（時価加重ベース。日経予想・会社予想より、しんきんアセットマネジメント投信算出。）となっています。当マザーファンドにおける株式の組入比率は、当期中おおむね95%以上の高位を保ち、当期末には99.5%となっています。

### 外国債券

#### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州ソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。国別配分については、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、オーストリア、ポルトガル、フィンランドおよびアイルランドの各國債でポートフォリオを構成しています。各投資国の国債インデックスに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。

#### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（ADB）、アジア開発銀行（ADB）を組み入れています。

### 国内不動産投資信託

#### ●しんきんJリートマザーファンドⅡ

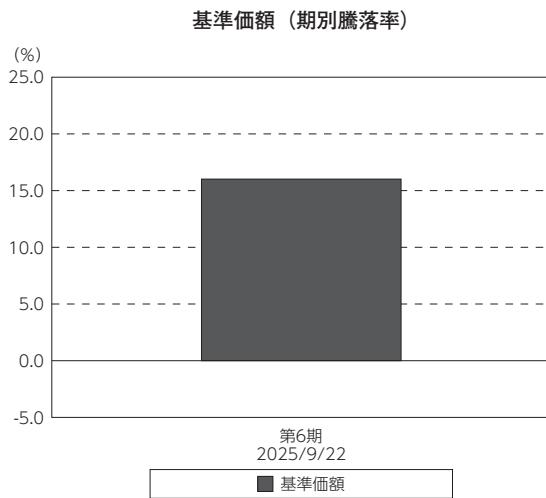
銘柄の選定にあたっては、①財務の健全性、②収益性および分配金利回り、③流動性および価格水準に着目し、各銘柄の比率は、時価総額比率をベースに調整しました。当期末では、市況の改善が続き、ファンダメンタルズが良好なオフィス系リートや、インバウンドの増加などにより業績好調なホテル系リートを多めに保有する一方、収益の成長期待が低い商業系リートを少なめに保有しています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年9月21日～2025年9月22日)

当ファンドは3つの異なる資産（国内株式・外国債券・国内不動産投資信託）に分散投資を行っていますが、特定の指数を上回る、または連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

(2024年9月21日～2025年9月22日)

当期の収益分配金については、基準価額の水準、市場動向等を勘案して見送りとしました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用します。

### 分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第6期	
	2024年9月21日～ 2025年9月22日	
当期分配金 (対基準価額比率)	—	— %
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	5,133	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

引き続き、運用の基本方針に従い、親投資信託である「しんきん好配当利回り株マザーファンド」、「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」、「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」および「しんきんJリートマザーファンドⅡ」の受益証券への投資を通じ、国内株式、外国債券および国内不動産投資信託それぞれの実質組入比率がおおむね3分の1程度となるように調整していきます。

### 国内株式

#### ●しんきん好配当利回り株マザーファンド

主として予想配当利回りが市場平均を上回ると期待できる株式に投資し、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

### 外国債券

#### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

F T S E E M U 国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

#### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

F T S E 米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

### 国内不動産投資信託

#### ●しんきんJリートマザーファンドⅡ

わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。運用にあたっては、「東証R E I T指數（配当込み）」をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指して運用を行います。

## お知らせ

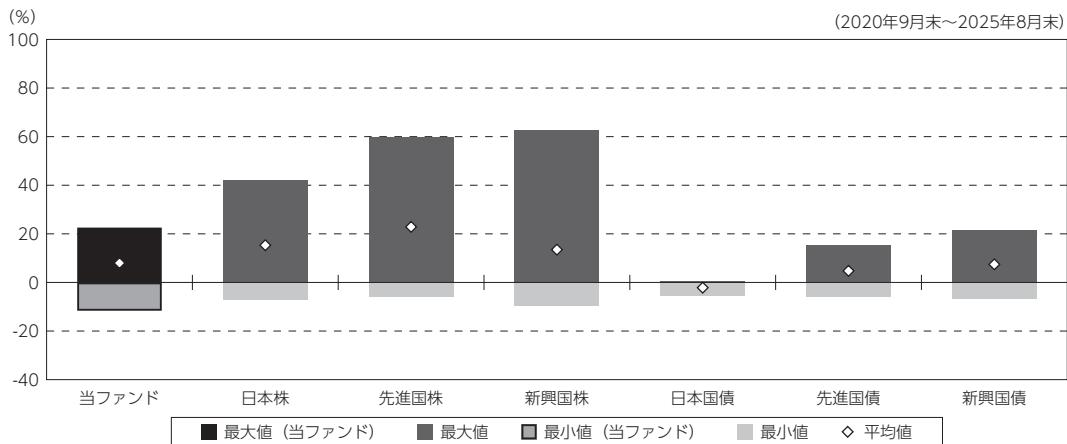
- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。  
(2025年4月1日実施)
- ・2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	<p>①各マザーファンド受益証券への投資を通じて、国内株式、外国債券および国内不動産投資信託証券に分散投資を行います。</p> <p>②各マザーファンド受益証券への資金配分は、原則として、ファンドが実質的に保有する以下に掲げる資産の投資信託財産の純資産総額に対する割合が、それぞれ以下に定める範囲内となるよう、投資信託証券に投資します。</p> <p>&lt;国内株式&gt;……………33%（±10%） しんきん好配当利回り株マザーファンド受益証券</p> <p>&lt;外国債券&gt;……………33%（±10%） しんきん欧州ソブリン債マザーファンド受益証券 しんきん米国ソブリン債マザーファンド受益証券</p> <p>&lt;国内不動産投信&gt;…33%（±10%） しんきんJリートマザーファンドII受益証券</p> <p>③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④資金動向および市況動向等に急激な変化が生じたとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができないことがあります。</p>
主要投資対象	しんきん好配当利回り株マザーファンド受益証券、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド受益証券、しんきん米国ソブリン債マザーファンド受益証券およびしんきんJリートマザーファンドII受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	国内株式、外国債券および国内不動産投資信託に分散投資し、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行っています。
分配方針	<p>年1回の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益も含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。</p>

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	22.6	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 11.6	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	8.0	15.3	22.9	13.5	△ 2.2	4.8	7.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年9月から2025年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2020年10月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、18ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2025年9月22日現在)

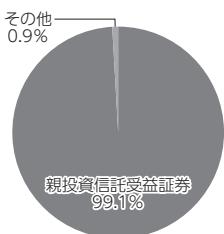
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第6期末 %
しんきん好配当利回り株マザーファンド	33.7
しんきんJリートマザーファンドⅡ	33.0
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	16.3
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	16.2
組入銘柄数	4銘柄

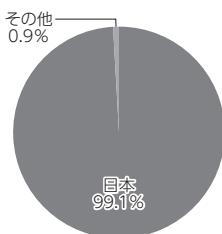
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

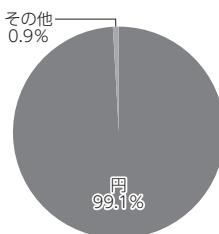
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

### 純資産等

項目	第6期末
	2025年9月22日
純資産総額	6,481,151,678円
受益権総口数	4,282,766,648口
1万口当たり基準価額	15,133円

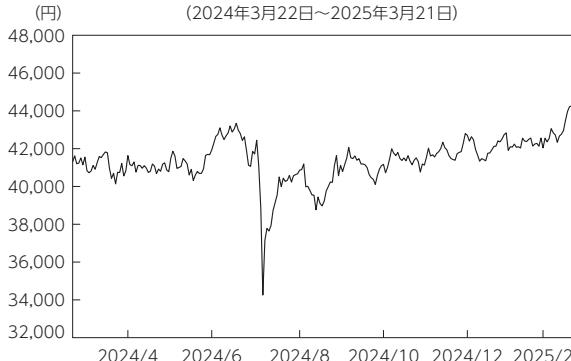
(注) 期中における追加設定元本額は1,075,932,563円、同解約元本額は737,490,071円です。

## 組入上位ファンドの概要

### しんきん好配当利回り株マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年3月22日～2025年3月21日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年3月22日～2025年3月21日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	8 (8)	0.019 (0.019)
合 計	8	0.019

期中の平均基準価額は、41,697円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

### 組入上位10銘柄

(2025年3月21日現在)

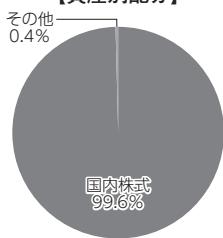
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
1	りそなホールディングス	銀行業	円	日本	1.4
2	東京海上ホールディングス	保険業	円	日本	1.3
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	1.3
4	INPEX	鉱業	円	日本	1.2
5	出光興産	石油・石炭製品	円	日本	1.2
6	大阪瓦斯	電気・ガス業	円	日本	1.2
7	日東工業	電気機器	円	日本	1.2
8	明治ホールディングス	食料品	円	日本	1.2
9	野村不動産ホールディングス	不動産業	円	日本	1.2
10	マブチモーター	電気機器	円	日本	1.2
組入銘柄数			86銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

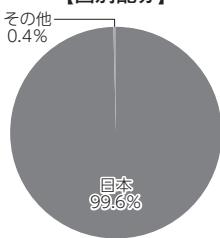
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

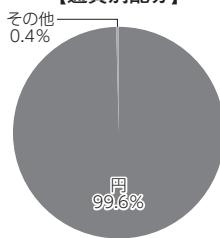
### 【資産別配分】



### 【国別配分】



### 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

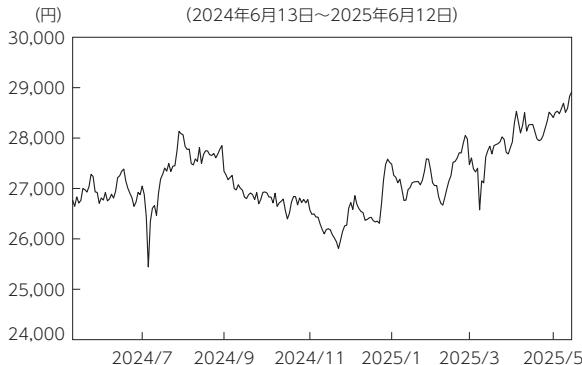
(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## しんきんJリートマザーファンドⅡ

## 【基準価額の推移】

(2024年6月13日～2025年6月12日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2024年6月13日～2025年6月12日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	2 (2)	0.008 (0.008)
合 計	2	0.008

期中の平均基準価額は、27,333円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

## 【組入上位10銘柄】

(2025年6月12日現在)

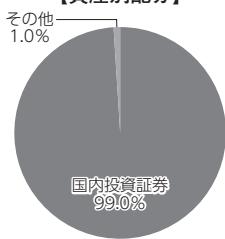
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
1	日本ビルファンド投資法人	投資証券	円	日本	7.5
2	ジャパンリアルエスティート投資法人	投資証券	円	日本	6.1
3	日本都市ファンド投資法人	投資証券	円	日本	5.6
4	GLP投資法人	投資証券	円	日本	4.7
5	野村不動産マスターファンド投資法人	投資証券	円	日本	4.7
6	KDX不動産投資法人	投資証券	円	日本	4.5
7	日本プロロジスリート投資法人	投資証券	円	日本	4.4
8	オリックス不動産投資法人	投資証券	円	日本	4.1
9	大和ハウズリート投資法人	投資証券	円	日本	3.9
10	インヴィンシブル投資法人	投資証券	円	日本	3.7
組入銘柄数			43銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

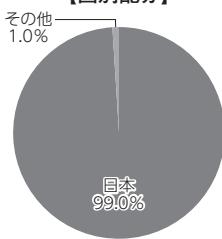
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

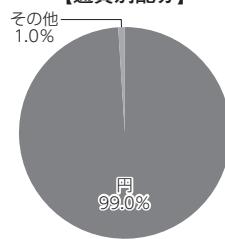
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## しんきん米国ソブリン債マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年2月9日～2025年2月10日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年2月9日～2025年2月10日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	5 (5) (0)	0.024 (0.024) (0.000)
合 計	5	0.024

期中の平均基準価額は、22,473円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)

を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

【組入上位10銘柄】

(2025年2月10日現在)

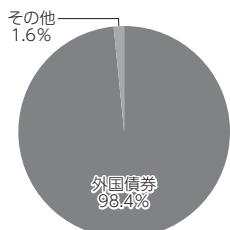
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
1	T-NOTE 2.000 08/15/25	国債証券	米ドル	米国	6.1%
2	ASIA 1.875 01/24/30	特殊債券	米ドル	国際機関	5.7%
3	T-NOTE 2.625 01/31/26	国債証券	米ドル	米国	5.2%
4	T-NOTE 3.125 11/15/28	国債証券	米ドル	米国	5.1%
5	T-NOTE 1.625 08/15/29	国債証券	米ドル	米国	4.9%
6	T-NOTE 1.375 11/15/31	国債証券	米ドル	米国	4.8%
7	T-NOTE 1.625 02/15/26	国債証券	米ドル	米国	4.6%
8	T-NOTE 2.250 11/15/25	国債証券	米ドル	米国	4.4%
9	T-NOTE 1.625 05/15/26	国債証券	米ドル	米国	4.3%
10	T-BOND 3.625 02/15/44	国債証券	米ドル	米国	4.1%
組入銘柄数			32銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

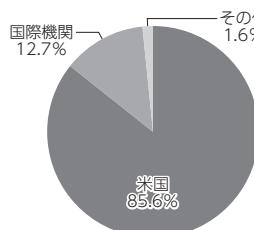
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

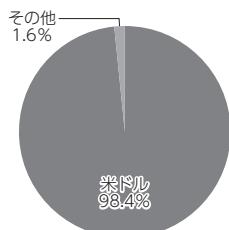
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## しんきん欧洲ソブリン債マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2024年2月9日～2025年2月10日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2024年2月9日～2025年2月10日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	8	0.046
( 保 管 費 用 )	(8)	(0.046)
( そ の 他 )	(0)	(0.000)
合 計	8	0.046

期中の平均基準価額は、18,244円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)

を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

## 【組入上位10銘柄】

(2025年2月10日現在)

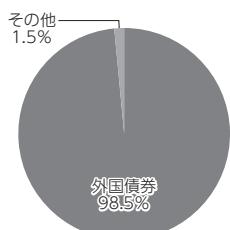
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
1	BTPS 3.850 07/01/34	国債証券	ユーロ	イタリア	3.8
2	DBR 4.000 01/04/37	国債証券	ユーロ	ドイツ	3.7
3	FRTR 5.750 10/25/32	国債証券	ユーロ	フランス	3.6
4	BTPS 2.800 12/01/28	国債証券	ユーロ	イタリア	3.5
5	DBR 1.700 08/15/32	国債証券	ユーロ	ドイツ	3.5
6	SPGB 4.700 07/30/41	国債証券	ユーロ	スペイン	3.5
7	SPGB 4.200 01/31/37	国債証券	ユーロ	スペイン	3.4
8	FRTR 2.750 10/25/27	国債証券	ユーロ	フランス	3.4
9	FRTR 4.000 10/25/38	国債証券	ユーロ	フランス	3.2
10	SPGB 1.950 07/30/30	国債証券	ユーロ	スペイン	3.0
組入銘柄数			57銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

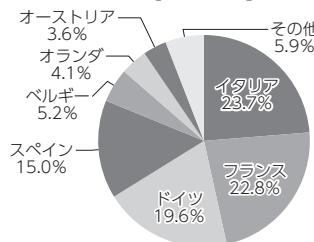
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

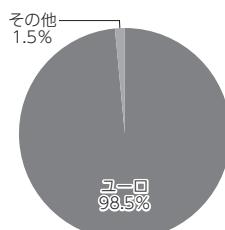
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について>

騰落率は、データソースが提供する各指標をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関する運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

### ○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指標で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指標で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指標です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指標です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建国債を対象にした指標です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。